

検査項目説明

* 検査項目、基準値の詳細については、健診医療機関へお問い合わせください。掲載基準値は「検査のすべて」(主婦の友社)の数値を参考にしています。

検査項目		基準値	検査内容
診察計測	問診・診察		既往歴・自覚症状などを調べます。
	身長・体重・体脂肪率		身長にあった体重・体脂肪率かを調べます。
眼科	視力	1.0~1.2	視力を調べる検査です。
	眼底		眼球の奥にある網膜を観察します。眼底の血管は、全身の中で唯一直接観察される血管です。
	眼圧	10~20	眼球の内圧を調べる検査です。
	色覚		色を識別する検査です。
聴力	オージオ	0~25	主に、1000Hz(低音域)と4000Hz(高音域)の聴力を調べる検査です。
尿	尿検査(蛋白)	陰性(-)	腎臓・泌尿器だけでなく全身の疾患を見つけるため尿を検査します。
循環器	血圧		血管壁にかかる血流の圧力です。心臓から拍出される血液量と血管の抵抗に影響されます。
	心電図		心臓の筋肉に流れる電流を体表面から記録する検査です。
呼吸器	肺機能		肺の大きさや働き、気道の広さを調べる検査です。
	胸部X線		肺炎、肺結核、肺がん、肺気腫、胸水、気胸など、呼吸器の疾患の有無、その程度がわかる検査です。
消化器	喀痰細胞診		異型(悪性)細胞がないかを確認する検査です。
	胃部X線		食道・胃・十二指腸の形や胃壁などの影を見る検査です。
	胃管内視鏡		胃カメラを挿入し、上部消化管の病変を調べる検査です。
	ABC検診		ピロリ菌感染の有無と胃粘膜萎縮の程度(血清ペプシノゲン値)を測定する検査です。
	便潜血反応(2回法)	陰性(-)	肉眼では分からない便の中の血液を検査をします。
	便潜血反応(1回法)		
	腹部超音波		超音波を当てて、腹部の臓器を検査します。
血液一般	白血球数	男性3900~9800 女性3500~9100	白血球は血液中にある、体を細菌やウイルス等から守る成分で、免疫という作用を担当しています。働きによって幾つかの種類があります(顆粒球・リンパ球等)。白血球が上昇している状態は、通常は体が細菌やウイルスと闘っている状態を表しています。
	赤血球数	男性427万~570万 女性376万~500万	赤血球は肺で取り入れた酸素を全身に運び、不要となった二酸化炭素を回収して肺へ送る役目を担っています。
	血色素量	男性13.5~17.6 女性11.3~15.2	血色素は赤血球に含まれるヘムたんぱく質で、酸素の運搬役を果たします。
	ヘマトクリット	男性39.8~51.8 女性33.4~44.9	ヘマトクリットは血液全体に占める赤血球の割合をいいます。
	血小板	男性13.1万~36.2万 女性13.0万~36.9万	血小板は出血等が起こったときに血液を固める成分です。
	血液像		各血球の形態を観察し、形態変化の有無などを調べる検査です。
	血沈	男性10mm/1時間以下 女性15mm/1時間以下	血球が沈降するためにできる上澄みの高さを測る検査です。
肝機能	AST(GOT)	10~40	肝臓・心臓・筋肉等に多く見られる酵素で、細胞の構成成分であるアミノ酸を作り出す働きを持っています。
	ALT(GPT)	5~40	ASTと同様に、心臓・肝臓・筋肉等にみられる酵素です。
	γ-GT(γ-GTP) γ-グルタミルトランスペプチダーゼ	男性70以下 女性30以下	蛋白質を分解する酵素で腎臓・膵臓・肝臓等に見られます。
	ALP	115~359	肝臓・骨・小腸・腎臓などに見られる酵素です。
	ZTT(硫酸亜鉛混濁試験)	2~12	血清蛋白の状態を調べる検査の一つです。血清蛋白の中でも特にγグロブリンという成分と運動します。
	TTT(チモール混濁試験)	0~4	血清蛋白の状態を調べる検査の一つです。
	LDH(乳酸脱水素酵素)	115~245	肝臓・心臓・筋肉・腎臓等多くの臓器に見られる酵素で、血液成分(赤血球・白血球・血小板等)にも多く見られます。
	TP(総蛋白)	6.7~8.3	栄養状態や健康状態をみるのに大変重要な検査です。
	総ビリルビン	0.2~1.0	肝臓の障害や胆汁の流れの障害がないかどうかの検査です。
	ChE(コリンエステラーゼ)	男性242~495 女性200~459	肝臓でつくられる酵素です。
	アルブミン	60.2~71.4	血清蛋白の中で最も量の多い成分で、肝臓で合成されます。全身の栄養状態や肝臓の状態を知ることができます。
	A/G比(アルブミン/グロブリン比)	1.2~2.0	アルブミンの低下や、γ-グロブリンの上昇を招く病気で低い値となるので、これらの病気の検出に用いられます。
	LAP(ロイシンアミノペプチダーゼ)	男性80~170 女性75~125	ロイシンなどの蛋白質を分解する酵素です。
	アミラーゼ	50~170	デンプンを加水分解する酵素です。唾液腺や膵臓に病気があると高い値になるので、これらの病気の検出に用います。
	HBs抗原	陰性(-)	B型肝炎に感染しているか調べる検査です。
HBs抗体			
HCV抗体	C型肝炎ウイルス感染者の血清中に出現する抗体です。		

検査項目		基準値	検査内容	
脂質代謝	総コレステロール	150~239	血液中に含まれる脂肪分の一つです。血管の維持に重要な役割を果たしています。血中および体内にある脂肪の一種です。血中ではエネルギー運搬・貯蔵に重要な役割をはたしています。	
	中性脂肪	50~149		
	HDLコレステロール	男性41~86 女性41~96	コレステロールの中でも善玉コレステロールと呼ばれる成分です。血管の壁にはりついたコレステロールをはがして肝臓に運び込む役目をはたしています。	
脂質代謝	LDLコレステロール	70~159	コレステロールの中でも悪玉コレステロールと呼ばれる成分です。	
	β-リポ蛋白	190~500	血清中で脂質とタンパクが複合体となったものです。	
糖代謝	空腹時血糖	70~109	インスリンが不足すると組織での糖の利用が障害されて、血中の糖濃度が高くなります。糖尿病の検査に用います。	
	グリコヘモグロビン (HbA1c)	4.3~5.8	糖とヘモグロビンが結合した糖化タンパクのことでです。	
	フルクトサミン	205~285	フルクトサミンは、糖化された血清タンパクの総称です。糖尿病の検査に用いられます。	
腎機能	血清尿素窒素	6~20	尿素由来の窒素量を示す単位です。	
	クレアチニン	男性0.61~1.04 女性0.47~0.79	肉のエネルギー源となるクレアチニンリン酸の代謝物であるクレアチニンの血中濃度は、体の筋肉量に比例し、体重あたりほぼ一定です。腎機能検査に用います。	
	血中尿酸	男性3.7~7.6 女性2.5~5.4	痛風など核酸代謝の異常な病気や腎機能異常の検出に用いられます。	
梅毒	RPR	陰性(-)	梅毒の診断を行う検査です。	
	TPHA			
	ガラス板			
免疫血清その他	血液型 (ABO, Rh)		血液型を調べる検査です。	
	CRP	陰性(-)	炎症に反応して上昇する蛋白です。検査の感度は高く、ごく小さな炎症でも陽性となります。	
	RA (RF)	陰性(-)	関節リウマチ (RA) を診断する検査です。	
	ASLO (ASO)	200以下	溶血性連鎖球菌という細菌に含まれる毒素のストレプトリジン (赤血球を壊す) に対する抗体を測ったものです。	
	CEA (がん胎児性抗原)	5.0以下	大腸癌・肺癌で高値の見られる特殊な蛋白です。その他の消化器系の癌でも上昇が見られる他、糖尿病・甲状腺機能低下症でも上昇が見られます。また、加齢によっても軽度上昇が見られ、喫煙者でも上昇が見られます。	
	ナトリウム	136~147	ナトリウムの血中濃度はアルドステロン、抗利尿ホルモンなど腎に関係する種々のホルモンによって制御されており、濃度の変化は細胞の機能に大きく影響します。	
	カリウム	3.6~5.0	細胞の機能、とくに心筋の細胞の機能に大きく影響するもので、その血中濃度は一定に保たれ、過剰なカリウムは腎から排泄されます。	
	クロール	98~109	ほとんどは細胞外液の中に存在しています。体液のバランス維持に重要な役割を果たしています。	
	カルシウム	8.7~10.1	内分泌疾患や骨代謝異常の有無を検査します。	
	血清鉄		体の中の酸素を運搬するヘモグロビンの一部で、貧血の原因を調べるときに行う検査です。	
	リン	2.4~4.3	内分泌疾患や骨代謝異常の有無を検査します。	
	PSA	4.0以下	PSAは、前立腺腫瘍マーカーの1つです。	
	α-フェト蛋白	10.0以下	肝癌で高値の見られる特殊な蛋白です。胎児性腫瘍 (胚芽腫瘍) や劇症肝炎時の肝再生でも上昇が見られることがあります。	
	CA19-9	37以下	大腸癌で高値の見られる特殊な物質です。膵癌・胆嚢癌等の他、肺癌・乳癌でも上昇が見られます。唾液線・胆管・気管支炎の高度の炎症でも上昇が見られることがあります。	
	サイロキシン (T4)	6.10~12.4	サイロキシンは、甲状腺から分泌されるホルモンの1つです。甲状腺機能の変化に応じて、その血中濃度が変化するので、甲状腺機能の異常を調べる目的で検査します。	
	骨密度測定		骨の中にあるカルシウム、マグネシウムなどのミネラル成分がどのくらいの量あるのかを計測するものです。	
	子宮がん	子宮細胞診		子宮頸部 (子宮の入口) の細胞を擦り取って細胞を検査します。
		子宮細胞診 (自己採取)		子宮頸部 (子宮の入口) の細胞を自分で採取し、それを医療機関で検査します。
		子宮エコー		超音波をあてて、跳ね返ってくる音波を画像化して診断します。
	乳がん	乳房触診		乳房に触れて、しこりの有無や様子を検査します。
乳房エコー			超音波をあてて、跳ね返ってくる音波を画像化して診断します。	
マンモグラフィー			乳房のレントゲン撮影検査です。	